

## 第56期 決算公告

2023年3月8日

東京都港区芝公園一丁目2番9号  
エヌエス環境株式会社  
代表取締役 須磨 重孝

### 貸借対照表

(2022年12月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>4,738,114</b>	<b>流動負債</b>	<b>820,621</b>
現金及び預金	2,456,578	業務未払金	120,466
受取手形	31,394	リース債務	58,796
完成業務未収入金	2,231,446	未払金	71,147
貯蔵品	15,105	未払費用	154,640
前払費用	2,451	未払法人税等	191,684
その他	1,308	未払消費税等	84,717
貸倒引当金	△170	未成業務受入金	17,956
<b>固定資産</b>	<b>1,817,076</b>	預り金	91,134
<b>有形固定資産</b>	<b>1,594,097</b>	賞与引当金	24,640
建物	647,750	受注損失引当金	1,863
構築物	8,215	その他	3,573
機械及び装置	12,756	<b>固定負債</b>	<b>223,722</b>
車両運搬具	0	リース債務	107,231
工具、器具及び備品	40,697	長期未払金	58,786
土地	719,821	退職給付引当金	57,705
リース資産	164,855		
<b>無形固定資産</b>	<b>107,781</b>	<b>負債合計</b>	<b>1,044,343</b>
電話加入権	7,352	<b>(純資産の部)</b>	
施設利用権	680	<b>株主資本</b>	<b>5,510,846</b>
ソフトウェア	99,748	<b>資本金</b>	<b>396,200</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>115,197</b>	<b>資本剰余金</b>	<b>350,105</b>
出資金	1,000	資本準備金	350,105
長期貸付金	27	<b>利益剰余金</b>	<b>4,764,541</b>
破産更生債権等	231,044	利益準備金	37,893
差入保証金	49,745	その他利益剰余金	4,726,648
繰延税金資産	64,423	別途積立金	4,053,000
貸倒引当金	△231,044	繰越利益剰余金	673,648
		<b>評価・換算差額等</b>	-
		その他有価証券評価差額金	-
		<b>純資産合計</b>	<b>5,510,846</b>
<b>資産合計</b>	<b>6,555,190</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>6,555,190</b>

# 損益計算書

(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	5,566,089
売上原価	3,451,133
売上総利益	2,114,955
販売費・一般管理費	1,283,644
営業利益	831,311
営業外収益	74,204
営業外費用	3,640
経常利益	901,875
特別利益	-
特別損失	-
税引前当期純利益	901,875
法人税、住民税及び事業税	286,985
法人税等調整額	△10,604
当期純利益	625,494

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 資産の評価基準及び評価方法

#### 1) その他有価証券

- ・時価（市場価格）のあるもの 決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。
- ・時価（市場価格）のないもの 移動平均法による原価法を採用しております。

#### 2) たな卸資産

- ・未成業務支出金 個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しております。
- ・貯蔵品 最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しております。

### (2) 固定資産の減価償却の方法

#### 1) 有形固定資産

（リース資産を除く）

定率法（ただし、建物及び2016年4月1日以降に取得した建物附属設備並びに構築物については定額法）を採用しております。なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	2～52年
機械及び装置	5～8年
工具、器具及び備品	2～20年

#### 2) 無形固定資産

（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。

3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が2008年9月30日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(3) 引当金の計上基準

1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

2) 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。なお、数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。

(4) 収益及び費用の計上基準

完成業務高及び完成業務原価の計上基準

1) 履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法

履行義務の充足に係る進捗率の見積方法は、主として発生原価に基づくインプット法によっております。

2) 原価回収基準によって収益を認識する方法

進捗率を見積もることができない業務については、代替的な取り扱いを適用し、原価回収基準で収益を認識しております。

(5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

## 2. 貸借対照表に関する注記

(1) 担保に供している資産及び担保に係る債務

1) 担保に供している資産

該当事項はありません。

2) 担保に係る債務

該当事項はありません。

(2) 有形固定資産の減価償却累計額

2,285,510千円

(3) 期末日満期手形の会計処理

期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

(4) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務（区分表示したものを除く）

短期金銭債権 17,176千円

短期金銭債務 11,553千円

## 3. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

営業取引による取引高

1) 売上高 164,416千円

2) 仕入高 59,071千円

3) 販売費及び一般管理費 19,285千円

営業取引以外の取引高 240千円

#### 4. 関連当事者との取引に関する注記

親会社及び法人主要株主等

(単位：千円)

種類	会社等の 名称	所在地	資本金又は 出資金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合
親会社	応用地質株式会社	東京都千代田区	16,174,600	インフラ・メンテナンス、防災・減災、環境、資源・エネルギーの分野で持続可能な社会に貢献	被所有割合 直接100.0%

関連当事者との関係		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
役員の 兼任等	事業上の関係				
兼任1名	環境関連業務 の請負	環境関連業務の請負	164,142	業務未収入金	17,153
		資金の借入	-	未成業務受入金	-
		資金の返済	-	未払金	4,061
		クラウドサービス利用料等	3,692	短期借入金	-
		家賃の支払い	8,388	長期借入金	-

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

- ① 環境関連業務の請負については、個別に見積書を提出し価格交渉の上、決定しております。
- ② 事務所の賃貸については、近隣の取引実勢に基づいて決定しております。
- ③ 資金の借入時の利率については、市場金利を勘案して決定されております。

#### 5. 1株当たり情報に関する注記

- |                |           |
|----------------|-----------|
| (1) 1株当たり純資産額  | 1,416円31銭 |
| (2) 1株当たり当期純利益 | 160円75銭   |

#### 6. 重要な後発事象に関する注記

特記すべき事項はありません。

#### 7. その他の注記

記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。